

プログラム

日 時：平成29年6月30日（金） 11：00～12：10
場 所：岡山コンベンションセンター コンベンションホール

【オープニングイベント】

出演：そうさ俺達ジョニー一家只今参上!! Rolling Special
うらじゃ踊り
演目：「オリジナル演舞」「総踊り」



【主催者挨拶】

農林水産大臣政務官 細田 健一

〈概要〉

この全国大会は、開催地である岡山市を共同主催者とし、また様々な形で食育の推進に貢献されている全国の皆様方にご参集をいただき、本日開催の運びとなりました。今年の大会のテーマは「食育は人づくり！みんなでええ『食』を次世代へ～桃太郎のまち岡山から 未来へつなげる食と健康～」です。

今回の大会では、岡山市内の三つの大学がブース展示を行っています。若い世代の食生活に課題が見られる中、学生の皆様方が食育の取組を率先して行っていただくことは、他の学生にも好ましい影響を与えるものと大いに期待をしております。

岡山は古くは桃太郎のまちとして知られておりますが、現在でも白桃や千両なすをはじめ、様々な農産物が生産されております。

本日の開会式には、長年食育の推進にご尽力をいただいている山東昭子先生をはじめ、国会議員の先生方、岡山市の大森雅夫市長、宮武博岡山市議会議長をはじめ、市議会や県議会議員の先生方にも多数ご列席をいただいております。大会の開催準備にご尽力をいただきました大会実行委員会をはじめとする関係者の皆様方には、心より厚く御礼を申し上げます。

この後、食育活動表彰の表彰式が行われ、全国で食育を進めるにあたり、参考となる様々な好事例が表彰されます。今回から、食育推進ボランティアとともに、食育と関係する教育機関、農林水産関係の生産者や事業者、地方自治体も対象として表彰することといたしました。全国から261件もの応募があり、その中で本日は農林水産大臣賞6件を含め、19件の取組を表彰させていただきます。中嶋委員長をはじめ、審査員の皆様のご尽力に改めて深く御礼を申し上げます。

本日、そして明日の2日間、ここ岡山で開催される食育推進全国大会が成功裏に終わり、全国での食育がますます推進されることを祈念し、私のあいさつの結びとさせていただきます。



岡山市長 大森 雅夫

〈概要〉

皆さんようこそ。桃太郎のまち岡山へ。72万市民を代表して、心から歓迎を申し上げたいと思います。

本大会では「食育は人づくり！みんなでええ『食』を次世代へ」というテーマを掲げ、健康に過ごすために欠かせない食について皆様方と一緒に勉強したいと考えております。

岡山では健康寿命の延伸のために、三つのテーマを掲げています。一つは運動、もう一つは生きがい、そして栄養・食生活になります。この栄養・食生活を含む食育を、ぜひ皆様方によく認識していただいて、食生活の充実を図っていただきたいと思います。

また子どもにおいても孤食、あるいは食べない、朝ご飯を食べない子も多いということが問題視されていますが、ある岡山市内の中学校の統計では、朝ご飯を食べることと学力との間に相関関係があるという報告もされています。今回、シンポジウムや講演会、また各種イベントへの参加を通じて、食育の重要性について学び、さらなる理解を深めていただくとともに、互いの交流も深まる実り多い大会となることを祈念しております。

最後になりますが、本大会の開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様へ、心から感謝を申し上げますとともに、お集まりの皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念して、ごあいさつとさせていただきます。



【ご来賓挨拶】（敬称略）
参議院議員 山東 昭子

〈概要〉

受賞者の皆様、まず、本日は本当におめでとうございます。

食育という言葉は、今日お集まりの皆様方のご協力により、日本中にだいが浸透してまいりました。この食育は、明治29年福井県生まれの医師石塚左玄が、これからの人生の中で必要なのは知育・徳育・体育・才育、そして一番大切なのは食育、この5育をうたったことが始まりですが、これからも色々な分野で、栄養士の皆さん、食生活改善ボランティア活動をされている方々、関係者の皆様方のご協力により、もっともっと推進していかなければなりません。

シニアの方は大変バランスの良い食生活をしておられますが、20代・30代のこれからの日本を支えて行く方達の食生活が充実していません。食育をしっかりと行うことは、食生活だけではなく国を救うことにもつながります。8年後の日本は医療費が50兆円などと試算されていますが、少しでも減らすためには食育が一番大切です。

また3年後のオリンピック・パラリンピックに向けて、世界中の人達が日本の食に期待をして来られ、この素晴らしい岡山にもお越しになります。食育を通じて日本の食文化を発信することにより、これからの日本の益々の発展につながることを期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきますと存じます。



岡山市議会議員 宮武 博

〈概要〉

本日は全国各地から、岡山市によろこそお越しくできました。岡山市議会を代表して、心から歓迎を申し上げます。皆様方には平素から食育の普及・推進に多大なご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

食は、生きていくために欠かせないものであるとともに、生活に楽しみをもたらす、人生を豊かにしてくれるものであります。しかし近年、社会環境の変化、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、食を取り巻く環境は多くの課題を抱えています。健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができる社会を実現するために、家庭や地域をはじめ、保育・教育・生産・流通の関係者、さらにはボランティア団体等、様々な人や団体と連携・協働し、広く食育の推進に努めていかなければならないと考えております。本日と明日、岡山で開催される全国大会を通じ、様々なことを学んでいただき、情報交換・意見交換を通じ交流を深め、実り多い大会となりますよう、期待を申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたり、多大なご尽力を承りました関係者の方々に感謝を申し上げますとともに、ご臨席の皆様方のご健康・ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とします。



【ご来賓紹介】（敬称略）



衆議院議員
逢沢 一郎



衆議院議員
あべ 俊子



衆議院議員
高井 崇志



参議院議員
小野田 紀美



食育推進評価
専門委員会座長
服部 幸應



食育活動表彰
審査委員審査委員長
中嶋 康博

【平成29年度食育活動表彰】

農林水産省では食育活動の推進を図るため、他の地域においても参考となる取組を行っている個人・団体を表彰しております。

今年度は都道府県・政令指定都市・大学などから推薦のあった個人・団体のうち、特に優れている19の個人・団体に対して、細田健一農林水産大臣政務官より表彰状の贈呈を行いました。

〈受賞団体・受賞者〉

○農林水産大臣賞

- ・横川 照子
- ・食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー（山口県立大学）
- ・NPO法人霧島食育研究会
- ・熊本県立大学
- ・西三河農業協同組合
- ・いばらきコープ生活協同組合

○消費・安全局長賞

- ・鮭川村食生活改善推進協議会
- ・都留市食生活改善推進委員会
- ・あぐりちゃれんじ（北海道教育大学釧路校）
- ・食品ロス削減サークル（美作大学）
- ・きょうと食いく先生
- ・NPO法人花と緑のネットワークとよなか
- ・岸田学園 行田幼稚園
- ・千葉県立桜が丘特別支援学校
- ・中部水産株式会社
- ・はあとキッチン
- ・株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム
- ・琉球新報社
- ・富士市食育推進会議



【平成29年度食育活動表彰審査委員長講評】

食育活動表彰 審査委員長 中嶋 康博

〈講評概要〉

本年度が第1回となります食育活動表彰では、全国都道府県等から推薦された261件の応募を基に、優れた18団体と1個人の食育活動を選定させていただきました。受賞された皆様、心からお喜び申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき先進性、継続性、有効性、波及性、実践性、この5つの観点から評価を行いました。また、第3次食育推進基本計画で掲げられていました5つの重点課題に取り組んでいるかという点も、詳しく検討させていただきました。表彰の対象は、ボランティア部門と教育関係者・事業者部門の2つからなりますが、ボランティア部門はさらに3つのグループ、それから教育関係者・事業者部門は4つのグループに分けて、活動を検討させていただきました。また、皆様それぞれの本来業務を越えたものかどうかということを確認し、応募活動内容が食育の観点から特別に評価できるものかどうか、これらを総合的に評価し、審査委員で熟慮を重ね、審査を行いました。

皆様の取組を拝見いたしますと、食育活動が非常に多様な分野に広がり、また新しいアイデアでの挑戦的な取組を進められているということがよく分かりました。これらは第3次食育推進基本計画で掲げる課題の達成に貢献するものと、大いに期待しています。

今回、選外となりました個人・団体・企業の方々におかれましても、今後の発展が期待できる興味深い取組が数多くありました。表彰された取組を参考にいただきながら、今後もさらなる食育活動を推進して、是非とも来年度もご応募していただきたいと思います。

最後に、この表彰が国民や社会への食育の推進の大きな契機になることを祈念しまして、私からの講評とさせていただきます。受賞者の皆様、本当におめでとうございます。



【開会式受付】



【配布物】

